

意見検討結果一覧表

(案名:岩手県次期総合計画第1期アクションプラン「行政経営プラン(仮称)」(中間案)についての意見募集)

番号	大区分	中区分	小区分	細区分	意見	検討結果 (県の考え方)	決定への 反映状況
1	Ⅱ 高度な行政経営を支える職員の能力向上	1 開かれた県行政を担う職員を確保・育成します	(1) 地域課題に対応できる職員の確保・育成	主な取組内容	「ジョブローテーション」とあるが、この「ジョブローテーション」がかえって、岩手県の政策立案に関して「広い視野と高い専門性」を喪失させることになっていると思われる。	ジョブローテーションについては、多様な業務や全庁に関わる事務に計画的に配置することにより、県政課題に対応できる職員の育成につながるものと考えています。御意見につきましては、職員の人材育成に当たり参考とさせていただきます。	D (参考)
2	I 地域に根ざした県民本位の行政経営の推進	2 市町村との連携・協働を推進します	(1) 市町村との連携・協働の更なる推進	主な取組内容	遠野市の課題は市システムのクラウド化。県全体でどういう方向性にしていくか、リーダーシップをとってもらいたい。あと20年もすれば半分くらいの職員数で業務をする時代がくるので、そういった動きにも対応するように計画のなかでふれていただきたい。	行政経営プランでは、人口減少社会において、県民サービスの持続可能な提供を確保していくため、県と市町村及び市町村間の連携・協働の取組を一層積極的に進めていくこととしています。 御意見のクラウド化等を盛り込むことについては、現在、第32次地方制度調査会において、地方行政体制のあり方としてAI・ロボットなど技術革新の活用やシステム等の共同化が課題として挙げられており、今後の審議の動向を注視する必要があると考えています。	D (参考)
3	I 地域に根ざした県民本位の行政経営の推進	2 市町村との連携・協働を推進します	(1) 市町村との連携・協働の更なる推進	主な取組内容	限られた資源の中で行政運営を行わなければならない、財政状況に応じた事業展開や、県と市町村との連携・役割分担が大事だと考えるが、県はどのように考えているか。	行政サービスを安定的・持続的に提供していくためには、県と市町村及び市町村間による連携・協働が必要と考えていることから、市町村のニーズを把握した上で、意見交換等を通じながら更なる連携・協働に取り組むこととしています。	F (その他)
4	I 地域に根ざした県民本位の行政経営の推進	2 市町村との連携・協働を推進します	(1) 市町村との連携・協働の更なる推進	主な取組内容	行政能力はぎりぎり、仕事は減らない。行政運営のあり方はこれまでと同じではない。県と市町村の機能分担をどうするか、システムをどうするか。うまく連携していく方法を模索したい。	行政サービスを安定的・持続的に提供していくためには、県と市町村及び市町村間による連携・協働が必要と考えていることから、市町村のニーズを把握した上で、意見交換等を通じながら更なる連携・協働に取り組むこととしています。	F (その他)
5	I 地域に根ざした県民本位の行政経営の推進	2 市町村との連携・協働を推進します	(1) 市町村との連携・協働の更なる推進	主な取組内容	安定的・持続的に行政サービスを提供するためには、2040年問題（人口減少と高齢者人口のピーク）への対応について、もっと具体的に重点的に取り組まないと進まない。どのような取組を進めていくか見えづらい。	現在、第32次地方制度調査会において、人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃を見据えた地方行政体制のあり方について調査審議されているところであり、県としても、2040年頃を見据えて県と市町村や市町村間の連携・協働を更に推進していく必要があると認識しています。今後、同調査会の答申を受けた国の動向を踏まえ、具体的な取組を検討していきたいと考えています。	D (参考)